

ナガボノウルシについて

近年、市内の水田において外来の一年生雑草「ナガボノウルシ」の発生が確認されています。

種子で繁殖する一年生雑草のため、適正な防除により発生を低減することのできる雑草です。しっかりと防除を行い、発生地域の拡大を防ぎましょう。

■ 「ナガボノウルシ」の概要

- ・ アフリカの熱帯地域が原産
- ・ 東南アジアでは水辺や水田で多発している雑草
- ・ 発芽するためには高温が必要
- ・ 日本国内では九州での発生が確認されている
- ・ アレロパシー（忌避）物質を出すため、近くには他の雑草が生えにくい

■ 現在確認されている除草剤の情報

- ・ 発生前の処理剤としては、ピラクロニルという成分が有効（イネキング、バッチリ、ビクトリーZなど）
- ・ 初期の茎葉処理剤としては、ペンタゾン含有剤が有効（バサグラン液剤、クリンチャーバスME液剤など）
- ・ 開花期に達している場合は、ワイドアタックSCが有効



未熟堆肥の使用により、雑草の種子が水田で発芽している可能性もあります。

堆肥を散布する場合は、完熟堆肥の使用を心がけてください。

水田の雑草防除対策について

- 水田の雑草が大きくなる前に、除草剤散布を行いましょう。(適期防除の徹底)
(雑草が大きくなってからでは、除草剤の効果が低くなります。)

1 初期・中期一発型除草剤の一例

薬剤名	使用量	対象雑草	使用時期
イネキング 1 キロ粒剤	1Kg/10a	水田 1 年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ミズガヤツリ、ウリカワ等	移植直後～ ノビエ 2.5 葉期
サラブレット KAI1 キロ粒剤	1Kg/10a		
キマリテジャンボ	10 パック/10a		移植直後～ ノビエ 3 葉期

■ 除草剤の効果を高めるために(農薬ごとの使用方法を守ってください。)

- ・ 代かきを丁寧に行い、田面を均一にする。
- ・ 除草剤散布後は水深 3～5cm とし、散布後 3～5 日程度は止水管理する。

※ ザーク D 1Kg(3Kg)粒剤に抵抗性のある雑草も増えています。

より効果の高い除草剤への変更も検討してください。

※ キマリテジャンボは、ヒエに長期間効果があります。

2 中期・後期除草剤の一例

薬剤名	使用量	対象雑草	使用時期
クリンチャー1 キロ粒剤	1.5Kg/10a	ノビエ、キシウスズメ ノヒエ、アゼガヤ	移植後 25 日～ ノビエ 5 葉期
バサグラン液剤	70～100L/10a (100～200 倍)	イネ科を除く 水田一年生雑草など	移植後 15 日～55 日
クリンチャーバス ME 剤	70～100L/10a (70～100 倍)	水田一年生雑草など	移植後 15 日～ ノビエ 5 葉期
ワイドアタック SC	100L/10a (1000 倍)		移植後 20 日～ ノビエ 5 葉期

※ ヒデリコなどのカヤツリグサ科の雑草は、水田一年生雑草で登録のある農薬を使用してください。

問い合わせ先 鹿兒島県大隅地域振興局 農政普及課 TEL 52-2142
鹿兒島きもつき農業協同組合 園芸農産課 TEL 41-5000
鹿屋市役所 農林水産課 TEL 31-1117